

Message

第 25 号

2018. 7. 20

＝メッセージ＝

島根県立島根中央高等学校
島根中央高等学校PTA広報委員会

このたびの豪雨災害により被害を受けられました皆様
心からお見舞い申し上げます。
島根中央高校PTA

未来に夢を 叶える教育

島根中央高等学校PTA会長

佐藤 龍美



島根県では、人口減少、高齢化や地域消滅の危機などの問題がある中、県内の高校においても、あと何年か先には統合や存続の問題が協議される可能性があると思っています。

島根中央高校では、県内各地や県外からも生徒らが多数入学していますが、県内の他の高校でもその傾向が高まっており、そんな中で島根中央高校が選ばれるよう魅力ある学校になって欲しいと願っています。そのためには、生徒一人ひとりが希望する進路に進める保障が必要だと思っています。

生徒が自ら学び、豊かな人間性や社会性を養い、自他を尊重する心、集団として規律ある態度を育てるよう、先生方をはじめ家庭、地域が協力して教育の充実を図ることが大切だと思えます。そして社会を生き抜く力を高め、生徒それぞれの夢が叶えられるよう、少しでも力になればと思います。

島根中央高校に 赴任して

島根中央高等学校教頭

織部 道雄



島根中央高校に今春赴任しました。来る途中に見た自然の美しさが印象に残ります。県の中央に位置し、豊かな自然に恵まれた、まさに「島根中央」の名にふさわしい学校だと思います。県外の方から見てもおそらく「島根」を感じさせてくれる所でしょう。

PTAの会では、保護者の皆さんの教育に対する熱い思いに圧倒されました。役場の方々や卒業生会の方々など、地元の方々の絶大な支援のおかげで、本校の教育活動は成り立っていると知りました。そして温かい地域の人々に支えられて生徒たちが育っているのだと実感します。

生徒たちにエネルギーを感じています。相手に正対したきちんとした挨拶ができる生徒たちに好感が持てます。入学式で在校生がしっかりと校歌を歌い、新入生を温かく迎え入れる姿に感動しました。15歳で親元を離れ寮生活をしている者も多いですが、しっかりと印象を受け

ます。周囲の人々とのかわりの中で成長しているのです。

以前勤務した学校の保護者からシクラメンを頂いたことがあります。それまでは人からいただいた花も手入れが十分でなくていつの間にか終わりになっていました。この時は水をやるなど、ちょっとした手入れを続けました。すると花が咲き続けました。そして季節が変わり、すっかり枯れたようになっていきましたが、季節が巡り再び芽が出て花を咲かせました。そんなことが次の年も、またその次の年も続きました。種まで取れました。再生する自然の姿に驚きです。同時にかわかることの大切さを感じます。

印象の良い生徒たちですが、実際は様々な悩みを抱えて生きています。部活動のことや自分の進路のこと、人間関係などに随分と苦しい思いを持って過ごしている生徒もいるようです。教員や保護者はもちろん、地元の方々、役場の方々、職場体験等で関わるの方々、寮の舎監や炊事員の方々など、周囲の大人たちの存在の大切さを改めて思い、生徒の成長力を信じてかわわっていききたいと思っています。

島根中央高校の 魅力発見

しまね留学合同説明会報告

島根中央高等学校主幹教諭

渡邊 勝義

6月中旬から下旬にかけて、大阪・東京・名古屋・福岡の4都市に「しまね留学合同説明会」に出かけてきました。

校長を筆頭に町役場の方、コーデイネーターの方とスクラムを組み魅力をしっかり伝えてきました。お陰様で、4会場72組の来場があり、本校への関心の高さを肌感じました。また、大阪・東京会場へは、卒業生や保護者様（卒業生・在校生）がサポーターとして駆けつけてくださいました。説明ブースで寮生活での我が子の成長などを熱心に語っていただきました。こうした、繋がりが本校の魅力であることを再発見できる機会となりました。お手伝いいただいた保護者様、卒業生の皆様本当にありがとうございます。



6月14日に球技大会があり、バレーボールとサッカーをしました。天候にも恵まれ、楽しく競技しました。各クラスの団結も深まり、良い一日になりました。



島根中央高校への思い

今年度も県外・邑智郡外から入学された生徒・保護者の方に寄稿いただきました。

「寮生活と部活動で成長した息子」

2年3組 大賀一輝くん 父母

(浜田市 旭中出身)

入学して1年3ヶ月、17歳になり少し大人びたように感じる今、寮生活と部活動が彼を成長させていると思います。

私達は高校選択する際に寮生活を希望しました。目的は集団生活と自立、そして故郷の大切さを学んでほしいからです。

川本町の支援に恵まれ寮生活がスムーズにスタートできました。他学年との同室、現在は8人部屋です。学年を超えて仲が良く、規律を身に着けながら充実した学校生活を送っているようで、寮生は家族だからと言っています。帰省時には、地元と同級生や地域の方との交流を積極的に設け、非常に頼もしく思っています。

次に部活動です。吹奏楽とい

う島根中央高校の文化部の中では最も厳しい部活を未経験者にも関わらず選んだのには少々驚きました。不安も多かったと思いますが、先生のご指導、先輩や同級生の影響を受けて、一生懸命取り組んでいます。このような経験をしている息子を見ると、本当に良い学校を選んだと思います。

最後になりましたが、様々な方から声をかけていただき、息子を支援してくださる方々から感謝申し上げます。残り半分の高校生活ですが、未来に向かってほしいと願っています。

〈大賀一輝くんに聞きました〉



Q 島根中央高校を選んだ理由はなんですか？

全国から色々な人が集まっているというのが魅力的だなと思ったのと寮がきれいで過ごしやすそうだったからです。

Q 入学してからこれまで(学校生活、寮生活)を振り返ってみてどうでしたか？

最初は、同じ学校から入学した人がいなくて、友達作りに苦労するかなと思いましたが、すぐ寮で友達ができ、学校は毎日楽しく部活にも集中できるので充実しています。

Q 入学して自分が変わった(成長した)と思うことは何ですか？

部活と勉強の両立です。現在吹奏楽部に入っていますが、テスト期間はしっかり勉強の時間を確保してやっています。それ以外は部活を頑張ったりとメリハリがつけられるようになったことです。

Q 家族に向けて一言！

あと約2年間、川本で毎日毎日頑張っていきます。体調に気をつけて、見守ってください。

「成長を願う」

1年1組 下家佳奈さん 母
(大阪府 春日出中出身)

娘が島根中央高校への受験を決めたのは、入試の3ヶ月前でした。中2の頃から島根中央高校に行きたいと言っていたのですが、中3になる頃には大阪の高校への進学を考えていました。そのつもりで大阪の進学説明会に参加した際、偶然声をかけられパンフレットをもらいました。この出会いにより思いが再燃し、娘の気持ちは島根中央高校に向きました。

都会の便利な暮らしに慣れている娘ですから、田舎での生活は無理だろうと主人も私も両手をあげて賛成できませんでした。しかし、娘は島根中央高校への気持ちは高まり、ホームページなどを何度も見ていました。娘は幼い頃から私の地元である川本町に年数回行っていました。そのためか、田舎の環境を好んでいるようでした。娘は娘なりに何かを感じ、島根県での生活を望んだのだと思います。

しまね留学での学校説明会



や学校見学では、学校の様子を一つ一つ丁寧に教えて頂きました。

地域とのつながりや学校の手厚いサポートなど娘には合っていると思います、送り出すことにしました。念願かなって入学し寮に入りましたが、当初は戸惑いや不安があったようです。でもすぐに慣れ、友達や先輩と仲良く過ごしている様子で安心しました。また、以前から入りたかった写真部にも入部し、充実した毎日を送っているようです。娘がいないことを寂しく思うことがありますが、本人が楽しい日々を送っていることが一番です。島根中央高校に入学してよかったですと思っています。

〈下家 和佳奈さんに聞きました〉



Q 島根中央高校を選んだ理由はなんですか？

偶然大阪での進路説明会で島根中央高校の話を聞き、学校の雰囲気の魅力を感じ、島根中央高校に決めました。

Q 入学してからこれまで(学校生活、寮生活)を振り返ってみてどうでしたか？

最初は不安で一杯でしたが、今は、学校でも寮でもたくさんの友達と笑いあったり、優しい先輩に困った時は助けてもらったりと充実した毎日を送っています。

Q 入学して自分が変わった(成長した)と思うことは何ですか？

寮に入ってから、自分のことは自分でできるようになり、少しは自立できたのかなと思っています。

Q 家族に向けて一言！

寮に入って両親のありがたみを感じました。三年後、今より成長した私を楽しみにして下さい。

「今思うこと」

1年2組 高橋優花さん 母
(福島県 二本松一中出身)

「しまね留学」を知ったのは、今から5年程前に読んだ朝日新聞の記事でした。特色ある内容に心惹かれるものがあり、一度は自分の目で確かめてみたいとの思いがありました。

地元の高校を受験するか決めかねていた中学3年生の11月に初めて島根中央高校を訪れました。

豊かな自然に囲まれ、地域に根ざした学校であり、勉強や部活動に集中できる素晴らしい環境だと感じました。

娘は、小学校1年生からカヌーを習い始め中学校でも練習を続けてきました。高校に入学したらカヌー部に入り、インターハイで入賞したいという目標がありました。

しかし入学を考えると友達

の事、寮での生活の事、福島の家からあまりにも遠い事など様々な悩みや不安があり、毎日のように娘と話をしました。そんな時、『高校は自分のために行くところ、自分が行きたいと思うところを選ぶべき』との周りのアドバイスもあり、3年間という限られた時間だからこそ島根中央高校に入学して頑張りたいという結論にたどり着きました。

入学後は友達もでき、寮の生活にも慣れ、規則正しく充実した日々を過ごしているようです。

5月のカヌーの大会を応援に行った時は、久し振りに会った娘の成長を感じ安心しました。

日頃よりお世話になっっている先生方、地域の皆様には感謝の気持ちで一杯です。

ありがとうございます。そして、これからもよろしくお願い致します。

〈高橋優花さんに聞きました〉



Q 島根中央高校を選んだ理由はなんですか？

小学校から頑張ってたやってきたカヌーを高校でも続けたいと思い、島根中央高校にしました。

Q 入学してからこれまで(学校生活、寮生活)を振り返ってみてどうでしたか？

県外から来て最初は不安でしたが、学校生活は友達も沢山でき、授業も楽しくだんだん慣れてきました。寮生活は、先輩方と会話をしたり、友達とご飯を食べたりして、とても充実した日々を送っています。

Q 入学して自分が変わった(成長した)と思うことは何ですか？

寮生活で自分のことは自分でやらないといけないので、少し自立したと思いました。

Q家族に向けて一言!

寮生活をしていると親のありがたみがわかりました。本当にいつもありがとうございます。

「今思う」

1年3組 隅岡伸乃輔くん母
(広島県 大朝中出身)

息子が島根中央高校を選んだ一番の決めては、野球をしたという気持ちです。中学校までは、シニアチームに所属していました。

住まいはお隣の広島で自宅から学校までは、車で30分の近距離にあります。それもあってか、寮に入った息子は、寮生活にも慣れ、優しい先輩方と楽しく過ごさせていただいている様子です。

中学校までは周りの友達から「しんちゃん」と呼ばれていました。高校になったら名字で呼び合うのかなと思っておりましたら、高校に入ってから「しんちゃん」と呼ばれていたのを聞いてほっとした母です。
(笑)

島根中央高校は旧川本高校と邑智高校で、川本高校は祖母

の母校ということが分かり、とてもご縁を感じました。祖母は70歳を超えておりますが、年1回同窓会に出席しています。そういう姿を今まで見ていたのでも、とてもいい学校だなと思っております。

親として心配なことは山ほどありますが、一番大切な事は、息子本人が周りの支えてくださっている皆さんに、感謝の気持ちをもって、一日一日を大切に過ごしていけるように、常に努力することだと思っております。

寮のお食事もとても美味しいと嬉しそうに話しております。

最後になりましたが、先生方、川本町の皆様、本当に感謝の気持ちしかありません。

これからも、どうぞよろしくお願いたします。ありがとうございます。

〈隅岡伸乃輔くんに聞きました〉



Q島根中央高校を選んだ理由はなんですか?
野球に集中できる環境が整っていたからです。

Q入学してからこれまで(学校生活、寮生活を振り返ってみて)どうでしたか?
学校生活では友達がたくさんでき、とても楽しく学校生活を送れています。

寮生活では先輩の皆さんとても優しく充実しています。

Q入学して自分が変わった(成長した)と思うことは何ですか?
寮生活で、自分の事は自分でやらないといけないので、少しは自立できたと思います。

Q家族に向けて一言!
高校生活3年間、しっかりと野球と勉強の両立を頑張っています。これからも応援よろしくお願いたします。

平成30年度

部活動結果



(全国大会・中国大会)

■カヌー部

【カヌースプリントジュニア

海外派遣選手最終選考会
男子カヤックシングル200m
(予選)

8位 瀬上 一樹

4位 小畑 陽一 準決勝進出
(準決勝)

9位 小畑 陽一

男子カヤックペア1000m

4位 瀬上・小畑組

女子カヤックシングル200m U15

9位 高橋 優花

女子カヤックシングル500m U15

5位 高橋 優花

女子カヤックシングル1000m U15

5位 高橋 優花

【中国高等学校カヌースプリント選手権大会】

男子カヤックシングル500m

3位 小畑 陽一

5位 瀬上 一樹

6位 平田 修希

男子カヤックペア500m

2位 瀬上・小畑組

男子カヤックフォア500m

1位 瀬上・小畑・中島・平田

女子カヤックシングル500m

4位 高橋 優花



■自然科学部

【全国高等学校総合文化祭出場】

岩 佳奈子



■写真部

【全国高等学校総合文化祭出場】

田中 柚葉



■陸上競技部

【中国高校陸上選手権】

男子八種競技
10位 上田 理央

女子やり投
22位 市原 愛美



(県高校総体)

■カヌー部

男子カヤックシングル5000m

1位 小畑 陽一

男子カヤックペア5000m

1位 瀬上・小畑組

男子カヤックフォア5000m

1位 瀬上・小畑・中島・平田

★瀬上・小畑・中島・平田・松岡・中野の4名は8月に岐阜県で行われる全国高校総体に出場します。

■陸上競技部

男子八種競技

1位 上田 理央
女子やり投

3位 市原 愛美
男子5000m競歩

8位 安部 暖人
女子ハンマー投

8位 福岡 知優

■バレーボール部

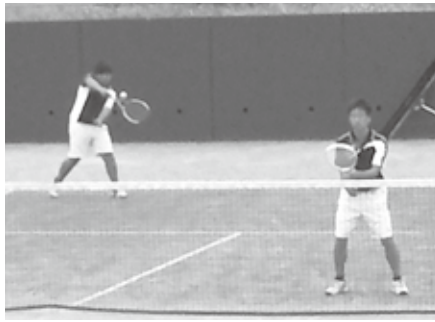
女子

島根中央 0-2 三刀屋

■ソフトテニス部

女子団体

島根中央 0-3 松江南



■バスケットボール部

男子

島根中央 57-55 益田翔陽

島根中央 60-103 浜田

女子

島根中央 15-112 隠岐



■剣道部

(男子団体)

島根中央 2-3 出雲工業

(個人戦)

増田 信大 4回戦進出

(ベスト32)



(その他の大会・活動)

【石見地区高校野球大会】

(準決勝)

島根中央 3-6 益田東

【高文連春季写真コンクール】

特選(県高校写真展に出品)

伊藤 美優・上田 恵

田中 柚葉(2作品)

【高文連石見地区高校美術講習会】

美術部5名が参加



【みさと町民文化祭】

しまん-Chu♡!の内、家庭クラブ・写真部・吹奏楽部が参加

お知らせ

7月28日(土)

「ええなあまつりかわもと」

PTA巡回活動

「美郷夏祭り」

PTA巡回活動

8月18日(土)

PTA奉仕活動

(校内除草活動)

8月31日(金)～9月2日(日)

学園祭

(PTAバザーは9月1日(土))

編集後記

4年に1度のサッカーワールドカップ。連日の熱い戦いに寝不足のまま仕事に出かける方も多かったのではないのでしょうか。個人的には、午前0時キックオフだった日本×セネガル戦の際、直前で眠ってしまい見逃したことが今でも悔やまれます。

さて、今年度、第1回目の「Message」に寄稿してくださいました皆様、お忙しいところ引き受けていただきまして、本当にありがとうございます。おかげをもちまして、とても素敵な広報誌を皆様にお届けすることが出来ました。

広報委員会では、今後もPTA活動や生徒たちの学校での様子など「Message」を通じて皆様様に提供していきたいと思っております。

PTA広報委員会 岡田